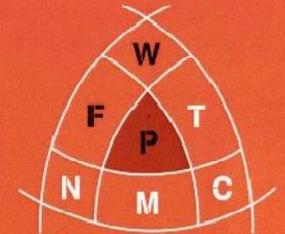


# 空間と存在 あるいは「神話の未来」

# P3

## ■ 統合学習プログラム遊戯 (P)

これはすべての学習プログラムを統合しますが、中でも感得 (F) から世界観 (W) へとつながることがのぞまれます。



■ 新生呉羽 (舞踊・美術家、こどもワークショップ主宰)

## index

1. 学習目的・目標
2. 活動内容

### 1. 学習目的・目標

パフォーマンス (アートによる発信) は表現者とそれを見るもの、または表現者同士が未来に有効なアイデアを出し合う場となりうるのだろうかということを考え、生き生きとした方のある場を表現することに取り組みます。

#### 「空間意識」

内なる感情の砂漠は感星規模の危機を生み出しました。現在さまざまな努力が重ねられている中で、アートによる発信、体験は心の深いところに働きかける多くの可能性を持っているのではないのでしょうか。アートには、隠れている道を見つけたり、つながっているもの、似ているものを見つけ出す力があります。また、その空間意識も興味深いものがあります。

古代の人々が洞窟に描いた絵には、彼等と彼らを取巻く空間との境目のない壮大な世界を見ることができます。和歌の世界も空間なくしては存在しない表現です。近代演劇到来までの多くの演劇が戸外で上演され、民族舞踊や祭りも野外でおこなわれるなど、当たり前のように環境と表現は「なかったらありえない」といえる密接な関係を持っていました。人々は自分の存在とそれを取巻く空間との境界を断片的、合理的理解ではない「まるごと」のとらえかたをしていたと思われまふ。そして、まるごとと感ずることは、表現することとも境目が無かつたのでしよう。そのように生まれくるものには、心から心へ届け続ける口伝のような作用があるのではないのでしょうか。

「表現の足がかりとして」

近代が脇に置いてきぼりにした、感情、本能、直感、快感、意志、動物性、純真に目を向けることが大切。自然から離れすぎた私達がその聖性に思いをはせ、勇気とおおらかな自由さを獲得したいものです。

「パフォーマンス」

形にすることや見せることにとらわれず即興的な瞬間の選択を大切に展開します。表現者自身や、見る側に「アー、これもありだなー」と新しい選択の自由と勇気を喚起する時間がパフォーマンスです。

【キーワード】 身体と空間意識、選択の自由と勇気

## 2. 活動内容

二つのパフォーマンス：空間と存在あるいは「神話の未来」  
「緑の中の純真」

### ●パフォーマンス1 「神話の未来」

実施場所：臨機応変ですが、室内でトレーニング、  
最終的に草地など野外

活動時間：朝よりは身体がほぐれている午後からが望ましい。何回かに分けて内容を深めていってもよいでしょう。全体で2時間以上の時間を用意して、体感しながら外に向かって発表するのは30分くらい。自然光や音など環境の変化を取り込める時間を選びます。日没に合わせてたりしても、美しい表現になります。

対象・人数：1人以上、何人でも

装備：動きやすい服装、おもいおもいのコスチュームも楽しい。人数分の掃除道具（デッキブラシ、モップ）とプラスチックのカップ。その他、現場にあるものを使う。

学習の内容：きっかけ（導入）

- ①リラックスした形で、表現の多様性、可能性、環境と表現についての資料を見たり、話し合ったりして心をはぐします。ネイティブカナディアン現代美術や60年代から世界各地に広がった野外でのアートパフォーマンスやインスタレーションの写真などもいいかと思います。
- ②自然の権能を取り入れた身体トレーニングで怪我の無いよう身体をはぐします。

【活動の展開】

Part.1

思い思いの場所で、空の高さや鳥の声、遠くの車の音、空気の味など、空間を静かに味わいます。

Part.2

一つの問いが投げかけられます。

「陸の砂漠、海の砂漠、心の砂漠。考えただけで泣きたくくなるような現実、逃げ出したいくなるような問題、とても正視したくないと思うことを思い出して下さい。」

内にこもってしまいたいといった、感情と向き合います。つらくなったら、ならべてあったプラスチックカップを手をわずらわず口にくわえます。以後、カップが落ちた場合も



▲ Part.1 自然と一体



▲ Part.1 カップを通して景色を見る

一切、手は使わず動物のような姿勢でくねえおします。  
くねえたカップの底を通してのみ外界を見ます。乳白色の  
ペールのかった景色に集中します。この二つのルーラの  
もて、歩いたり、とどまったり、動いたり  
するが、動きが大きくなりカップが落ちるたびに空気の中  
や空に響くかすかな「砂漠」のにおいを感知し始めます。  
息を上めたり、くんくんと動物のようにかきまわりカップ  
は、次第にガスマスクのような役割にもなっていきます。

#### Part.3

混乱のピークで木陰などにおいてあったデッキブラシや  
モップなどの掃除道具を取り出し、空気の掃除を始めます。  
大空と対話し、どんなディテールも見逃さず、あきらめる  
ことなく丁寧な掃除を続けます。  
納得の場が訪れたら、空に向かってアンテナのように、古  
代ののヨリシノのようにデッキブラシを差し上げます。決  
意表明の定点、存在の定点として静止します。

#### Part.4

定点の上で穏やかな足踏みを始めます。段々に有機的に、  
踏むから上がる、上がるから踏めるような良いバランスの  
足はこびを探します。心を操りして、自分という存在を取  
巻く空間との良いバランスを探しながら「ここぞ！」とい  
う気持ちになるまで、ゆったりと大地を踏みます。

まとめ：再生のイメージを固めず、ぼらぼらの気持で各自  
持ち帰る。

#### 〈注意・留意点〉

〔活動を行う上でのコツ 安全管理などについて〕

野外の毒蛇、毒蜘蛛などの点検。

運動してない人が心の赴くままに動いて怪我をすることが  
あります。トレーニングを受けてストレッチして解んでい  
ただきます。

#### ○活動展覧事例

同じことはやみませんが、同じコンセプトのものは、以下  
の活動を再生が行いました。

France Morvan の Dree 町におけるパフォーマンス、

「空のお掃除」 2006.7.22

川口駅前広場での Between Eco & ego

「天使と空のお掃除」 2006.10

Italy Sardegnaにて Atlantis 2007.4.7 など

集団でおこなったもの

山梨県 小菅村にての ELF 研修会

「雪中 空のお掃除」2008.2



▲ Part.3 方向を作る



▲ Part.4 空の掃除中



▲ Part.2 それぞれの掃除の仕方

## ●パフォーマンスII 「緑の中の純真」

実施場所：林の中、棒やポールを使えば公園や雨の日の室内でもできます。

活動時間：2時間から3時間くらいの光の美しい時間

対象人数：10人から40人

装備：180センチ中の薄い農業用のビニール50mくらい  
着色料としてポスカ(太いものを多めに) 全色3セット以上、人数にあわせ充分に。

透明幅広梱包用テープ5センチ中、紐、枯れ枝など

学習の内容：きっかけ(導入)

目的地までの行程を楽しみます。目的地に着いたら散らばり、自然の美しさを味わいます。木に触ったり、斜面を下ったり、身体的に場所を理解していく時間をとります。怪我を避けることにもつながります。それが広義のダンスに発展していきます。

[活動の展開]

土の上に置かれた9枚のカードを見ます。

本能、直感、感情、快感、動物性、純真(心)、陸の砂漠、海の砂漠、心の砂漠と書かれています。このパフォーマンスはこれらを心に留めて行います。特に純真をテーマとしておこなうことを告げます。立ち木を利用して50mの農業用のビニールを張っていきます。

自然の中では迷路のような空間になり、ポールなどを利用した時は螺旋にします。上部はテープやロープで留め付け、下部は枯れ枝を斜めに刺して固定するなど、みんなで方法を考えます。今、見えている空間と、またそれを取巻く大きな空間と、自分の内なる声に気を配り、純真をテーマに絵を描きます。透き通った絵画は、絵は苦手と言っていた人にも抵抗無く描くことができるし、他の人の描いたものや透けて見える景色との境目があやふやに重なるので、作業中にさまざまなコミュニケーションやエピソードが生まれます。思いもかけない世界が表現されたり、面白いマテリアルの使い方や木の葉などを利用する人も現れるでしょう。

完成したら木の上で眺めたり、絵の中を走りぬけて遊びます。完成を祝って、端を5mくらい切って波遊びをします。二人が両端を持ち、心を合わせて空高く風をはらませ膨らまし、皆でくります。(ぶつかるので一方通行で)この時、純真のレベルを最高にするように指示を出します。低くしてぐったりして、古代人のような腰を落とした姿勢や、捕まえようとおどけたり、するりと逃げる動物の繊細さも味わいます。ふざけたり、転んだり、何より遊びの中の心の動きを楽しみます。



▲くぐったり、捕まえっこをしているところ



▲絵と空と木と一緒にあった世界をみている時の身体感覚

最後に地面に身体を横たえます。くぐって遊んだシートを上から被って、絵と空と木々が作り出す世界を眺めます。静かな時と静かな体をが戻ってきて、パフォーマンスの終了です。

場所が元通りになるように片づけをします。絵を描いた後のシートはまだいろいろな使い方、遊び方ができるのでとって置きます。

活動展開事例

ELF 研修会 山梨県 2008.7.6

埼玉県立近代美術館におけるワークショップ

2008.12.12 など



▲木立を利用してビニールを張りました